

授業科目 周産母子援助実習	科目概要・形式 6単位 270時間 必修	配当年次 2年 通年
科目責任者	佐藤 愛	
担当者	佐藤 愛、大村 倫子	
1. 科目のねらい・目標 1) 周産期にある母児およびその家族の健康生活を援助するためにアセスメントおよび質の高いケアの実践能力を養う。 2) 実践の場で、倫理的ジレンマが生じた場合に関係者間の倫理的調整を行なえる能力を養う。 3) 他職者（医師・ソーシャルワーカー・臨床心理士・理学療法士・保健師など）との共同ケアなどの調整能力を養う。 4) 周産期にある母児のケア提供者への相談・教育活動が行なえる能力を養う。 5) 看護実践からの課題を見だし、研究的視点をもって業務やケアの改善や変革を考える。		
2. 授業計画・内容 1) 実習内容 妊産褥婦・新生児およびその家族のアセスメントとケア（相談指導を含む）、ケア評価 看護スタッフとのコンサルテーションおよび教育・研修 他職種との連携と調整 2) 実習方法 分散実習または集中実習（6週間） 3) 実習施設 国立病院機構弘前病院 青森県立中央病院 八戸市立市民病院 以上の施設から選択する。ただし、学生の所属施設でないこと		
3. 教科書、参考書 特に指定しない。		
4. 成績評価方法 実習内容およびレポートにより評価する。		
5. 受講要件 なし		
6. 社会人学生に対する配慮 実習日程については、学生の状況を考慮して調整する。		
7. その他 実習目標に照らして、主体的に実習計画を立案し臨むこと。 適宜、教員および実習指導者と実習の調整を行い、週1回程度カンファレンスを設定する。 到達目標に達しない場合は追加実習を行う。		